

令和元年10月15日

## ▼タイトル

知事定例会見「イチオシ やまシリーズ」

高島市の「中央分水嶺高島トレイル」を紹介します

## ▼概要

高島市は、平成 17 年の町村合併により誕生しました。それぞれの地域で大切に守り続けてきた古道や登山道を全長 80km に及ぶ一筋の道として接続する「ロングトレイル構想」が持ち上がり、そうして生まれたのが「中央分水嶺高島トレイル」です。

中央分水嶺とは、降り注いだ雨水が太平洋側と日本海側の異なる方向へ流れ落ちる境界であり、日本列島の背骨の如く北は北海道から南は九州まで全長 5,000km にわたり走っています。そして、その中の 80km が高島トレイルとして高島市内を縦断しており、このように長大な中央分水嶺が一つの自治体を走ることは全国的にも珍しいものとなります。

高島トレイルの特徴として、12 の峰と 12 の峠を有するその長大な姿から、ブナやミズナラ、アシウスギを中心とした混成林が広がる自然豊かなトレイルであるとともに、日本海から京の都へ鯖を運んだとされる鯖街道をはじめ、近江坂や栗柄越などの数々の古道が走り、当時の文化や歴史を今に伝えています。

このように、高島トレイルは自然と歴史、文化が共存する複合遺産として、古くから地元の人々によって守り続けて来られました。

## ▼現在の取り組み

高島トレイルは、古くから各地域の住民や山の会により登山道の整備や保全活動がなされてきました。そして、平成 30 年 3 月に、宿泊業者や運輸業者、山岳会、行政等の各業種が連携し、高島トレイルの振興を促進することを目的として、高島トレイル連携協議会を発足しました。宿泊所や移動手段の確保といった登山者の利便性の向上や、各団体の相互の連携による観光誘客の促進を目指し、取り組みを進めています。

また、高島トレイルクラブや警察、消防等の地元関係団体により組織される「高島市山岳遭難防止対策協議会」では、遭難を未然に防止することを目的として山岳パトロールや遭難防止啓発活動を実施し登山者の安全確保に努めています。



▼取り組み事例

○登山道の整備活動



○山岳パトロール



○遭難防止啓発活動



○情報発信活動（夏山フェスタ）



○ファミトリップの実施（台湾旅行社）



○市民を対象としたトレッキング教室



▼問い合わせ先

○所 属：高島市役所 商工観光部 観光振興課

○担 当：講殿

○電話 番号：0740（25）8040

○ファックス：0740（25）8156